



「生きる力」をそだてよう

食育講演会を開催しました

問い合わせ先
健康増進課
☎45-4532

6月28日（土）、西会津中学校多目的ホールにて「子どもの未来 大人の未来」と題し、竹下和男先生による食育講演会が開催されました。当日は、小学4年生から中学3年生までの合わせて約180人のほか、保護者や一般の人、約80人が参加しました。

講演では、「命がけて話すので、命がけて聞いてください」とのメッセージから始まり、児童・生徒たちは真剣に聞き入っていました。



講師：竹下和男氏

香川大学教育学部卒
小中学校教員、教育行政職を経て、2000年に香川県滝宮小学校校長。2001年から「弁当の日」を開始。2010年に定年退職し、現在は全国を回り積極的に講演活動を展開中。

講演内容

日本の状況

現在、闇バイトや振り込め詐欺に手を染める若者、ゲーム依存など、世の中がおかしくなっている状況に皆さん気付いていませんか。「勉強だけしてなさい」と言われて育った子どもは、大人になって自分が産んだ子どもを育てることが苦痛になっているようです。

安武千恵さんのお話

乳がんだった千恵さんは、はなちゃんを産んだ後、がんが再発しました。それでも、母乳で育てたいと抗がん剤を投与しました。

ある時、はなちゃんが母乳を飲まなくなりました。それは肺などにがんが転移していることの知らせだったのです。



はなちゃんのみそ汁

千恵さんは、残りの人生で心残りがないように、簡単な家事をはなちゃんに教えていきます。5歳でご飯とみそ汁が作れるようになりました。その5か月後、千恵さんは亡くなります。

はなちゃんのみそ汁は、お母さんと同じ味がするそうです。育児を楽しむ姿を見せ、こんな親になりたいと思わせること、そんな千恵さんが今もしかりとはなちゃんの中に生きているようです。

はなちゃんのおばあちゃん

「はなちゃんのみそ汁」のお話は、本になり、映画になり、テレビでも取り上げられました。

でも、はなちゃんのおばあちゃんとは、何が珍しいのかと言っていました。おばあちゃんにとっては当たり前のことで、そのおばあちゃんが育てた千恵さんが、同じように

あこがれはつながる

滝宮小学校では、小学1年生は給食、6年生はお弁当を隣で食べます。1年生は6年生のお弁当をのぞいてあこがれます。その1年生が6年生になって今度はのぞかれる立場になります。またのぞいていた子どもがのぞかれる側になり、25年目になりました。

最後に

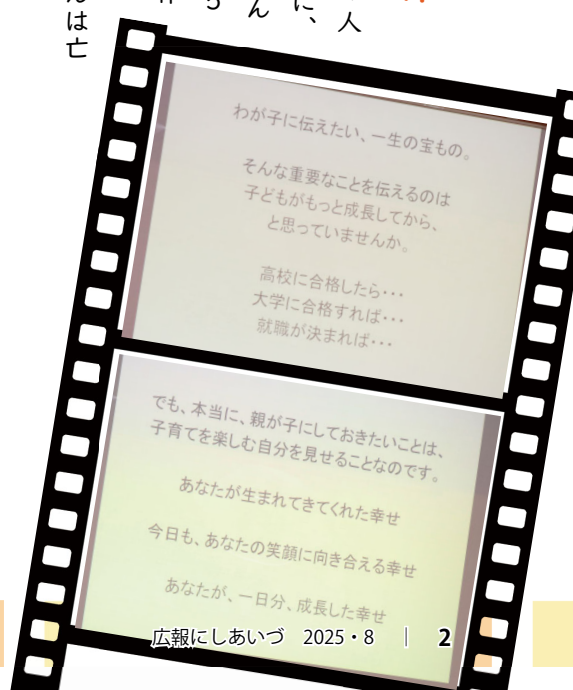
人は環境を変える脳を持っています。料理をする楽しさは、身に付けることができます。子育ては楽しいという心と体になれば、少子化対策にもなるのではないのでしょうか。それは、弁当の日の取組みで育てることができます。



弁当の日のスタート



親からは、初め不満の声が上がりました。しかし「親は手伝わないルール」と学校で指導することを伝え、理解を得ました。年5回実施するうち、初めは一品でも最後には全部自分で作れるようになります。



はなちゃんを育てたということだったのです。

ご飯とみそ汁の朝ごはん

日本人にとって、気候風土に合った朝ごはんは、ご飯とみそ汁が基本です。

でも自分で作れる子どもは、小学生1%、中学生1%、高校生になっても1%です。作れなくて当たり前の時代になっています。菓子パン、ドーナツ、バナナ、コーヒードは日本人向けではありません。

子を産み育てる体

子どもを産み育てるための体は、中学校卒業時点では30%しか成長していません。

★募集しています★

【弁当の日おいしい記憶のエピソード募集】

対象…全国の小中学生
募集作品…弁当作りや料理に取り組んだ自分の体験をもとに自由記載。

写真または絵を添えて
応募期間…9月1日～11月30日
消印有効

詳しくはこちら

【ドキュメンタリー映画「弁当の日」上映会を



開催してみませんか】

香川県で始まった、子どもが自ら台所に立ち、自分の弁当を作る「弁当の日」の現場を丁寧に取材・撮影したドキュメンタリー映画です。

◆内容…レンタル用映像ディスク97分。ブルーレイまたはDVDで貸出。

◆申込方法…上映費用については映画「弁当の日」公式ウェブサイトを確認ください。

今後とも町では、こども園・小中学校と連携した食育に取り組めます。